

はつらつニュース



医療法人社団 木水会

田辺クリニック

田辺 泰登

〒722-0002 広島県尾道市古浜町 6-20
TEL (0848) 24-1155代 FAX (0848) 24-1156

Vol. 147



カルボナーラ

彼らは長男の友人で、バカンスを使つて、初めてヨーロッパ外へ出ました。三人はイタリア北部のパドヴァの街のコンピューター会社で働いている同僚です。彼らは星空に降り立ち、新幹線で尾道に到着しました。長男宅に宿泊して、早速瀬戸田のサンセットビーチに海水浴に出かけました。夕食は歓迎会をしようと、近くのイタリア・レストランを予約しました。19時、私の一家はレストランに集まりました。その時携帯に連絡が入り、「船に乗り遅れたので、次のになる」との事です。次と言つても一時間以上あります。冷たいビールが待ちきれません。我々は、先に始めることにしました。

彼らが到着した時には、我々は相当出来上がっていましたが、巨体の三人を囲んで宴会は再開されました。陽気なイタリア人達は、遅刻の事など気にすることなく、どんどん飲んで食べて喋ります。

そのうちパスタが出て来て食べ始めました。変わった味だが、日本本の特製かと問うので、私は意外な感じがし乍ら、「カルボナーラ」と答えました。彼らは「瞬フォーケ」を置き、両手を開いて「カルボナーラ！」とお互い見つめ合いました。少しの沈黙の後、一人が私に、「これはカルボナーラではない。クリームがかかっている。若しもイタリアで、これをカルボナーラと言つたら、撃たれるであろう」

と言つて、人差し指をピストルのようにして自分のこめかみに当りました。「しかし、これはいい味だ」と付け加えました。イタリア人の客と言うので、心配そうに見ていた店の人達も、ひと安心した様です。その後、二次会、三次会と回つて、皆が寝入ったのは午前様でした。

夕食が出来たと言うので、皆が又集まりました。見るとキッキンに、色々な鍋が並んでいます。第一の皿と言って出てきたのが、カルボナーラです。成る程、卵とベーコン、チーズと胡椒のシンプルな味付けです。日本の前菜にあたりますが、これだけで満腹になります。ピーネと言う牛カツのようなソテーに尾道レモンとキノコで味付けもあり、あっさりした味です。これもボリュームたっぷりで食べ切れません。彼らはまるで自分の家のパートナーのように喋つて、飲んで、食べ続けています。

そして最後のデザートは、お馴染みのティラミスです。冷蔵庫から取り出したのは超ビッグサイズです。それを取り分けてくれましたが、もう食べられません。長くヘビーな夕食会は、夜遅くまで続きました。

彼らのお陰で、日本版イタリア料理と本場のイタリア料理とを同時に味わうことが出来ました。彼らは料理が趣味との事でレストランも開ける腕前です。その後も彼らは数日、のんびりと尾道で過ごした後、広島、関西、そして東京と回って、三週間の日本でのバカンスを終えて、帰国しました。帰国後もまだ一週間ほど休みが残っていると聞き、大変うらやましく思いました。

翌日なかなか起きて来ないので、心配してのぞいてみると、朝食も食へず皆寝入つていました。長男が観光に行かないかと誘うも、彼らは、「バカンス」と言って寝続けています。彼らのバカンスとは、時間やスケジュールに縛られず、のんびりと過ごすもののようにです。



コロナ禍の始まる前の夏、イタリアから3人の若者が尾道にやってきました。

世界との格差の大きい労働状況を重くみて最近働き方改革法案が次々と成立しました。ストレスチェックの導入、残業時間の制限、有給休暇の取得の確保、パワハラ防止法などが施行されています。

しかし、有給休暇を含めて一ヶ月もあるヨーロッパのバカンス休暇と比べてまだ見劣りします。彼らのバカンスはリゾート地や別荘（大金持でなくても持つている人は少なくない）に滞在し、自然の中、家族とゆったりとした時間を楽しみます。

我々日本人は、十連休にもなったゴールデンウィークをいかに過ごすかと悩んだり、海外へ出かけると、過密なスケジュールをこなし、くたびれ果てて帰国するような休暇の過ごし方をしていないでしょうか。

時間を気にせずに、思いのまま過ごす彼らのバカンスの方を見習う必要がありそうです。彼らのバカンスは、人生そのものの

働き方改革

転ばぬ先の杖

(その2)

新年あけましてあめでとうございます。昨年は新型コロナに振り回された年で三密を防ぐために生活様式もかなり変わってしまいました。今後も新型コロナウイルス感染の予防、拡大を防ぐためにスタッフ一同気を引き締めて対応をしていきますので皆さんには不自由な思いをしていただくこともありますがコロナ禍と一緒に乗り切りたいと思いますのでこれからもご理解を頂きご協力をよろしくお願いいたします。

前回のデイ便りでは杖のお話をさせていただいたので今回は杖でも歩くことが難しくなってきた（不安になってきた）ときに頼りになる歩行車のお話をしたいと思います。

杖を使用しても歩くことが難しくなってきたときに次の移動手段として「シルバーカー」と「歩行車」があることをご存じでしょうか？ シルバーカーと歩行車、似ているように見えるのですが実は違う物なのです。シルバーカーは比較的楽に歩ける方が使用するもので、歩行を安定させるものではなく「荷物を運びやすくすること」「疲れたときに座る」ためのものです。一方で歩行車は歩行が難しい方を対象に作られており、ハンドル部分が体を囲うように大きくU字型に出来ているのが特徴です。手の位置が体に近いため体重を手で支えながら安定して歩くこ

シルバーカー：



とが出来、前かがみになりにくく姿勢良く歩くことが出来ます。

このようにシルバーカーと歩行車は似ているようでも使用する目的が違うものなのです。シルバーカーは介護保険の対象ではありませんが、歩行車は歩行を補助するものなので介護保険の適応があり貸与を受けることが出来ます。

買い物や歩行の疲労を軽減させたいのか、歩行自体を手助けして安全に歩きたいのか2つの利用法のうち、どちらが自分に合っているのかしっかりと考えて決めてください。

自分が使用するものがシルバーカーか歩行車か決まれば実際に見て触って使い勝手を確かめてみてください。（シルバーカーはお店へ行く必要がありますが歩行車だと業者さんが自宅に“お試し利用”として持ってきてくれることもあります）見た目の良さだけで選ぶと失敗することがあるのでしっかりと使う場面を意識しながら確認しましょう。

次の選ぶときのポイントを参考にしてください。

- 安定性・操作性は良いか
- ハンドルの高さは自分に合った高さに調整できるものか
- ブレーキの操作は簡単に行えるか
- (座面のあるものでは) 座った時に安定しているか
- 大きさや収納はどうか

自分に合っていないものを使用するとかえって危ないこともありますのでよく選んでくださいね。

(曾根 正登)



★東洋医学入門

～その117～

鍼灸師 村田 雅文

今回も経穴のお話です。 足の少陰腎經

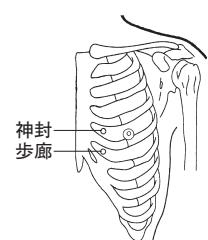
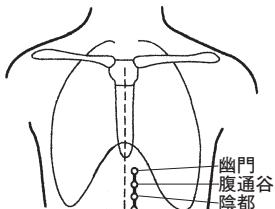
陰都……別名では、食宮とも呼ばれており、また飲食物を貯めて置く所であるため、食府という名でも呼ばれています。足の少陰腎經の脈は陽明胃經と交わることが、村から都に上がる様子に似ているのでこの名が付きました。腹痛、便秘、嘔吐などに用います。

腹通谷……この経穴は脾胃の疾患を治す要穴で、「谷の道は脾に通ず」とあり、水穀を上から下へ通す道になっていることからこの名が付きました。心窓部膨満、胃痛、喘息に用います。

幽門……「幽」は暗い、隠すの意味で、この経穴は幽門と呼ばれる胃の上口にあるのでこの名が付きました。また足の少陰腎經の脈気がこの経穴から腹、胸に流れ込んでいくのがまさに幽隱な所に流れる入口であることも由来の一つです。腹痛、腹脹、消化不良、つわりなどに用います。

歩廊……「歩」はゆっくり進むことで、「廊」はぐるりと廻る通路を指しており、足の少陰腎經の脈気はこの経穴からゆっくりと廻りながら、胸中に入していくことからこの名が付きました。嘔吐、肋間神経痛、咳、鼻閉などに用います。

神封……「神」は領界、境界線で区切られた世界の意味で、この経穴は胸の正中の脇にあり、心の近くにあります。心は神明を主のことから、この名が付きました。嘔吐、心膜炎、乳腺炎、咳に用います。



お知らせ



新年は1月4日(月)より、診療、デイサービス・デイケアを始めます。

新型コロナ感染の拡大が続いているが、インフルエンザの流行の兆しもあります。インフルエンザワクチンの接種をお勧めします。

田辺クリニックのホームページ <http://www.tanabecl.sakura.ne.jp/>
はつらつニュースのバックナンバーが入っています。